

<進路選択と高校受験について その2>

3.「進路先の研究」を進めよう

中学校卒業後、自分にはどんな進路先があるのかを調べてみることも大切です。
一般的には以下のような方法があります。ぜひ参考にしてください。

(1) いろいろな資料で調べる

- ①進路のしおり……………進路学習の教科書のような冊子で6月上旬から6月下旬に配付予定。
- ②進路だより……………ご家族の方にも目を通してもらいましょう。
- ③高校などのパンフレット……中学校に届いた分は、随時、学級ごとに配付します。
- ④専修・各種学校ガイド……学校に1冊届いています。
- ⑤DVD……………学校に送られてきます。届いたら進路だより等でお知らせします。
- ⑥ハローワークからの求人情報……届いたら進路だよりでお知らせします。
- ⑦職業適性検査……………就職を希望する場合に自分の適正を調べるために受けてもらいます。
- ⑧本や雑誌、インターネット……情報を入手する方法はたくさんあります。積極的に調べましょう。

(2) 説明会・見学会・体験入学などに参加する

各高校では、生徒対象・保護者対象の説明会や見学会を積極的に行っています。
私立高校や公立の職業科、高専（高等専門学校）などでは、特色を知ってもらうために実施しています。また、最近では公立高校の普通科でも実施するところがほとんどです。
中学校に案内が届いたらその都度、進路だよりでお知らせしていきますので、ぜひ積極的に参加してください。

(3) 私立高校合同説明会（私学展とよばれています）

例年、札幌市内や札幌市近郊を中心とした私立高校の合同説明会が実施されています。
制服が展示されたり、いろいろな資料が配付されたりします。また、その場に各高校の先生方が来ていて、学校の特徴や入試のことについて説明があったり、個人個人と進学についての相談をしてくださったりする学校もあります。親子で参加してみるといいでしょう。
例年、9月中旬の日曜日に開催されています。

(4) 高校訪問

見学会などの日以外でも、直接高校にお願いして見学させてもらったり、説明を受けたりすることも可能です。ただし、いつでも自由にできるものではないので、中学校を通して事前に連絡を取って、受け入れてもらう必要があります。基本的に保護者とともに行くことになります。もし、訪問を希望する学校が出てきた場合、まずは担任の先生に相談してください。

→裏面に続きます。

(5)担任や教科の先生との相談

進路に関わることなら、やはりみなさんのことをよく知っている担任の先生に相談することがよい方法と言えるでしょう。自分の適性や学力、学習に関わることなどについては教科の先生に相談してみるのもよい方法です。期末懇談や教育相談の時だけでなく、普段から思いついたらすぐに相談してみることが大切です。3年生だから、順番に先生が呼んで相談をしてくれるだろうと思って待っていてはいけません。それにみなさんが意思表示をしてくれないと、先生の方から一方的に話をすることはできません。遠慮せずに積極的に自分から相談に行ってみてください。

この他にも「友人に相談する」「身近な大人や先輩に話を聞いたり、自分に対するアドバイスをもらう」「模擬試験などで自分の力を試してみる」「趣味や習い事、部活動の指導者の方に相談してみる」など、情報を得たり、適性を知るためにやってみてほしいことはたくさんあります。また、学習だけでなく、いろいろな経験を積み重ね、自分を内面から磨いていくことも適性を広げることにつながります。

進路選択に向けては、いかに自分が積極的に行動していくかが大切です。人任せにしたり、よく考えたりせずに何となく選んでしまうと、万一、後悔することがあったときに取り返しがつきません。将来、どんな壁に当たったとしても、自分で決めた道なのだからがんばって乗り越えようと思えるような進路選択であってほしいと願っています。

(次号に続く)

<学校説明会等のご案内>

■第一学院高等学校 オープンスクール ※全員に冊子を配付

日時 6月14日(土)13:00～15:00、6月28日(土)13:00～15:00、他

場所 第一学院高等学校 札幌市北区北7条西4丁目4-1 第五北海道通信ビル5F

Tel: (011) 233-5515

内容 キャンパスツアー、体験授業、在校生への質問タイム等

参加申し込み→第一学院高等学校のHPから、または冊子に記載されたQRコードから各自、申し込む。